



■プロフィール

伊藤 嘉浩 (いとう・よしひろ)
生年月日 昭和35年7月6日
出身地 愛知県瀬戸市

昭和58年4月	名古屋国税局	総務部	総務課
昭和58年6月	小牧税務署	所得税部門	
平成16年7月	名古屋国税局	課税第一部	課税総括課 総括主査
平成18年7月	名古屋国税局	課税第一部	個人課税課 課長補佐
平成20年7月	名古屋国税局	課税第一部	課税総括課 課長補佐
平成21年7月	札幌中税務署	副署長	
平成23年7月	中川税務署	副署長	
平成24年7月	静岡税務署	副署長	
平成25年7月	名古屋国税局	総務部	国税広報広聴室長
平成27年7月	松阪税務署		
平成28年7月	名古屋国税局	課税第一部	個人課税課長
平成30年7月	名古屋国税局	課税第一部	課税総括課長
令和元年7月	名古屋国税局	課税第一部	次長
令和2年7月	現職		

心と身体の健康

——署内の雰囲気と赴任に当たっての抱負をお聞かせください。また、名古屋中税務署管内（中区）の印象はいかがですか。

名古屋国税局管内48の税務署の中でも随一の職員数を誇るのが、名古屋中税務署です。当署には現在、約270名の職員が在籍しており、適正・公平な課税・徴収の実現に日々、取り組んでいます。これだけ多くの職員が在籍していると、職員の顔と名前を覚えるだけでも一苦勞です。ましてや、この新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している中において、感染拡大防止のために、すべての職員がマスクを着用していますから、署内をまわる中ですべての職員の顔と名前を一致させるのは大変です。

署内の雰囲気は、非常に元気でモチベーションの高い職員が多く、ソーシャルディスタンスを保ちながら、職員同士のコミュニケーションがしっかりと図られており、活気のある職場だと感じています。また、若手職員も多く、様々なスキルを持った先輩職員から多くのことを学び取ろうとする彼ら彼女らのエネルギーを日々感じております。

良い仕事というのは、すべての職員が持てる力を最大限に発揮したその先にあると思います。そのために

勝ちに不思議の勝ちあり、 負けに不思議の負けなし

肥前国第9代藩主 松浦 清の言葉

名古屋中税務署長 伊藤 嘉浩 氏

は、心身ともに健康であることが大切です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中にあって、我々の仕事は多くの納税者と日々接するわけですから、「体が健康」であることがスタートラインです。職員自らもそうですし、その家族も健康でなければ仕事に打ち込むことができません。

また、「心の健康」については、働きやすい職場環境の醸成が重要であると考えます。なんでも気軽に相談できる、話ができる、コミュニケーションがこれからもしっかりと図られるような風通しの良い職場環境を醸成するよう心がけています。

今、社会はこれまで経験したことのない壁に直面しています。ソーシャルディスタンスの確保などの『新しい生活様式』が求められ、人々の日常が大きく変革する時を迎えています。このような世の中にあっても「我々税務署に何が求められているのか」、我々の使命は、適正・公平な課税・徴収の実現を果たすことであり、この使命を果たすために全力を挙げて取り組むことがこの変革期においても変わってはいかないものであろうと思います。

一方で、時代の変化に柔軟に対応し、仕事のやり方を変えていかなければいけないこと、変わることが税務署の使命を果たすことに繋がることも多々あります。

例えば、ソーシャルディスタンスの確保が要請される中であって、毎

年たくさんの納税者の皆さんが訪れられる所得税等の確定申告会場において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策はもちろんのこと、時代の要請に即した対応を行いたいと考えています。

すなわち、会場に来ていただくなくても確定申告をしていただくことができるe-Taxの利用を加速度的に促進していくための取り組みにも力を入れていきたいと考えています。

管内は、名古屋の原点ともいえる名古屋城や栄の中心街のランドマークタワーであるテレビ塔、栄三丁目周辺にはデパートなどの商業施設が集中し、その南には今や若者の流行発信地となった大須、そして、なんといっても「錦三」と呼ばれる大規模な娯楽飲食街、中区は名古屋を象徴するシンボリックな場所だと思えます。

ノーベル物理学賞 受賞者天野教授との 巡り逢い

——個人課税や広報広聴室長など幅広い分野の要職を経てこられました。これまでのお仕事について印象的なお仕事や出来事をお聞かせください。

これまでの仕事の中でも特に印象的だったのは、広報広聴室長時代の確定申告のPRイベントにノーベル物理学賞を受賞された天野浩名古屋大学教授をお迎えしたことです。

天野教授をお迎えすることとなったきっかけは一本の電話からでした。天野教授がノーベル物理学賞を受賞されたその日、職場の大先輩であった伊藤智氏（第41代名古屋中税務署長）からお電話をいただき、天野教授のお母さまが税務の職場の先輩であることを知ったのです。

早速、職場内で親交のあった人を探すと、当時の徴収部次長がお仕えしたことがあると分かり、次長からお母さまをご紹介いただき、分刻みのスケジュールをこなしている天野教授にアポイントを取ることができました。

一本の先輩からの電話をきっかけとして、人と人とのつながりによって、「時代」の人をお迎えしてPRイベントを実現することができ、我が組織の伝統と自分が日ごろから大切にしている人と人とのつながり、「縁」というものの力を実感した出来事でした。

——札幌中税務署で副署長をされています。（札幌中法人会は「全国中の会」という全国の「中」の字がつく法人会の集まりのメンバーで、当会とは以前から交流があります。）札幌中税務署ではどのようなことをされていたのですか。特に思い出に残ることはございますか。

札幌での勤務は、札幌中税務署の個人課税・資産課税部門の担当副署長として平成21年から平成23年にかけての2年間勤務しました。札幌中



税務署も名古屋中税務署と同じく札幌国税局と同じ建物にあり、その所在地も札幌市の中心街にあるということで同じような立ち位置の税務署でした。

札幌中税務署時代に思い出深いのは、道内にある離島と岬をすべて制覇したことです。北海道には本島も含めて509もの島があり、その中でも人が定住しているのは、奥尻島、天売島、焼尻島、礼文島、利尻島の5つです。いずれも北海道の雄大な大自然を満喫することができ、礼文島では最北端のストコン岬からロシアのサハリン島を望むことができます。また、ぐるりと海に囲まれた北海道には海に突き出した岬も多くあり、有名などころでは、襟裳岬や日本最北の宗谷岬、本土最東端の納沙布岬などがあります。

名古屋からではなかなか容易には訪れることができないこれらの場所を、バスツアーなどを利用しながら巡ることができたのは、とても貴重な体験でした。

思い出の味！ 煮込みハンバーグ

——お生まれはどちらですか。子どもの頃はどんなお子さんでしたか。学生時代はいかがでしたか。

愛知県瀬戸市で生まれ、中区にもよく出かけて来ましたが、子どもの頃の思い出と言えば、なんといって

も煮込みハンバーグです。

当時の伊藤家では、何かあると『カイラク亭』という洋食屋さんでお昼に煮込みハンバーグを食べ、その後松坂屋で買い物をするのが一大イベントでした。その洋食屋さんには母方の祖母の妹さんが働いていたことが縁で通っていたのですが、今となっては、正確な場所などはわかりません。父によれば今の名古屋銀行本店通りにあったのではないかとこの程度の情報しかなく、もし、皆さんの中でご存知の方がおみえになれば、ぜひ教えてください。

また、中区とのつながりで申しますと、御園座です。私の大叔父が勤務をしておりまして、母が好きな演目があると連れられてよく行きました。幼い私は演者の真似を大きな声でするものですから、母は途中で私を外に連れ出し、最後まで観劇できなかったといった話を聞きました。——信条や大切にされている言葉はございますか。

このような質問をされますということもお答える言葉は、「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」肥前国第9代平戸藩主松浦清の言葉です。偶然に勝つことはあっても、偶然に負けることはなく、失敗の裏には必ず原因があるはずであるということです。

上手くいったときにはどうしても浮かれてしまいがちですが、上手くいかなかったときにその原因をしっ

かりと分析し、同じ失敗を繰り返さないよう心がけています。

カラダにやさしい時間と孫の成長動画

——趣味・ご家族・休日の過ごし方などについてお聞かせください

家族は、妻と三人の子どもがおりますが、二人の子どもたちはすでに独立をし、そのうちの一人には5歳と2歳の子どもがおりまして、私からすれば孫ですが、仕事の関係で離れているので、専ら動画で成長を楽しんでいます。今ではこの孫の成長動画がクラウドに500本ほどストックしてあります。この動画の数からも孫への溺愛ぶりがご想像いただけるのではないのでしょうか。

休日を含めてコロナ禍で、ステイホームの時間が長くなったことを機に、妻とともにNHKのテレビ体操をはじめました。やってみるとその動きの一つ一つが体のことを非常によく考えられたものであり、その奥深さを感じながらカラダにやさしい時間を過ごしています。

e-Taxによる確定申告

——新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当会の理事会・行事等が大部分中止となり、署の皆様方大変ご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。署におかれま



してもご苦労されておられることと思いますが、会員の皆さんにお伝え・お願いしたいことなどがありましたらお聞かせください。

新型コロナウイルス感染症の感染が世の中で話題に上り始めたのは令和元年分の確定申告期間の真ただ中でした。そして、4月には「緊急事態宣言」が発出され大幅な外出自粛要請がなされました。国税関係では、申告所得税及び個人事業者の消費税の確定申告期限が一律、令和2年4月16日まで延長され、さらには、確定申告会場における混雑緩和の観点から、感染拡大により外出を控えるなど期限内に申告することが困難な方については、同日以降であっても柔軟に確定申告書を受け付けるなどの対応を行いました。加えて、新型コロナ臨時特例法の制定により様々な税制上の措置が講じられたところです。

緊急事態宣言が解除されてもなお、ウイルスの脅威は去っておらず、我々は『新しい生活様式』が求められ、変化を迫られています。それは税務署においても同様です。

まずもって申し上げておきたいことは、税務署においてはコロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底していること、調査においても極力「3密」とならないよう配慮しながら実施させていただくこととしておりますので、その点をご理解いただいてご協力をお願いします。

また、確定申告の在り方についても検討しております。確定申告会場の混雑緩和は、喫緊の課題です。

パソコンやスマートフォンを利用したe-Taxによる申告は、『新しい生活様式』にマッチしたものであり、税務行政の効率化と納税者利便の向上に加え、「3密」対策として、とても意義があるため、法人会会員の皆様におかれましては、ご自身やご家族の確定申告、会社の従業員の確定申告においても、ぜひともパソコンやスマートフォンを利用したe-Taxによる申告をお願いしたいと思います。

特に、従業員の方々はこれまで休暇等を利用して確定申告会場に足を運ばれていた方も多くあったかもしれませんが、e-Taxによる申告であればわざわざ休暇等を取っていただく必要もありませんのでそのような面でもメリットはあろうかと思います。ご関心をお持ちの会員の方がいらっしゃればいつでも従業員の方々に説明に伺いますのでお声掛けください。

コロナ禍の新しい生活様式

——名古屋中法人会の活動について「エール」をいただければありがたいです。また、名古屋中法人会への要望等もございましたらお聞かせください。

名古屋中法人会は、公益社団法人

として、毎年、多くの行事を企画・実施することで、税知識の普及、納税意識の高揚の啓発及び地域社会の健全な発展に貢献いただいております。その事業内容は名古屋国税局管内の法人会の中でもトップクラスであり、名古屋局管内の法人会のけん引役であると思っております。残念ながら本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために様々なイベント等の中止を余儀なくされるなど、コロナ禍において様々な制約のある中でその事業内容を『新しい生活様式』に則したものと見直しを検討されているところと伺っております。

集客を伴う事業活動が行えない現下の状況に歯がゆさを感じられていることと思いますが、名古屋中法人会の皆様であれば、このような状況下においても、それを跳ね除けるような多彩な事業活動を企画されるであろうと信じております。私どもといたしましても、「3密」を避けながら緊密な情報交換を行い、魅力的な法人会作りに協力させていただくことで、相互の信頼関係及び協調関係を一層強固なものとしていきたいと考えております。

名古屋中法人会は、税の Opiniオンリーダーとして、また、地域社会を盛り上げていく旗振り役として、なくてはならない存在であり、それは税務行政の円滑な遂行にとっても同じです。今後とも、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

地域社会貢献事業

新型コロナウイルス感染防止対策物品の寄贈式

日時／令和2年9月15日(火) 15:00～15:30 会場／中区役所 5F 第一会議室

出席者／ (公社)名古屋中法人会 副会長 辻本 昌孝 氏
 専務理事 鶴岡 一美 氏
 名古屋市中区長 柵木 由美 氏
 中保健センター所長 山田 敬一 氏
 (区政部長、福祉部長、総務部長、庶務係長)

寄贈品目録／体温測定用サーマルカメラセット…………… 2式
 PCR検査用大型エアートント…………… 1張
 PCR検査用ブース…………… 1台



副会長あいさつ
 辻本 昌孝 氏



寄贈品目録贈呈 中区長 柵木氏(右)



区長感謝状贈呈



寄贈品 PCR検査用大型エアートント

寄贈品(サーマルカメラ)



区長あいさつ 柵木 由美 氏 中区役所 5F 第一会議室



9月17日中日新聞朝刊 掲載記事



区役所5F入り口設置 中区長 柵木氏



臨時理事会



問診票・体温測定・消毒

日時／令和2年9月15日(火) 16:00～17:30

第1部 16:00～16:40 第2部 16:50～17:30

会場／東京第一ホテル錦 2F プリランテ

来賓／名古屋中税務署 署長 伊藤 嘉浩 氏

筆頭副署長(法人・酒税) 所 瑞穂 氏

法人課税第一部門統括国税調査官 馬淵 大樹 氏

報告事項／

- (1) 代表理事及び業務執行理事による業務執行状況報告
- (2) 今後の事業運営方針等について
- (3) 中区役所への新型コロナウイルス感染対策物品の贈答について
- (4) 名古屋中税務署の人事異動について
- (5) その他



東京第一ホテル錦 2F プリランテ



黙祷 本部役員 副会長 正木 利和 氏、8月14日死去。



筆頭副会長あいさつ
荒川 慎太郎 氏



来賓あいさつ
署長 伊藤 嘉浩 氏



来賓あいさつ
筆頭副署長 所 瑞穂 氏



来賓あいさつ
法人一統括 馬淵 大樹 氏

青年部会第3回役員会議

日時／令和2年7月9日(木) 18:30～20:00

会場／東京第一ホテル錦



委嘱状伝達 大塚 真次郎 部会長

女性部会第1回理事会

日時／令和2年9月10日(木) 10:30～11:30

会場／昭和ビル 9F ホール



女性部会「絵はがきコンクール」審査会

日時／令和2年9月10日(木)

会場／昭和ビル9F ホール



リーマンの教訓、危機管理で組織を強化

日時／令和2年7月30日(休) 13:30~15:30 会場／名古屋マリオットアソシアホテル 16F タワーズボールルーム

主催／日本経済新聞社、(公社)日本経済研究センター

後援／(公社)名古屋中法人会、(一社)中部経済連合会、中部経済同友会、名古屋商工会議所 出席者／60名(事前抽選の参加者)



コロナ禍の景気討論会

コロナ禍の三密対策で、応募者を抽選によって縮小し、検温とマスク着用を確認して開催された。聴衆間の距離を取った会場は熱気に乏しく異様な緊張感が漂っていた。

それでも来場者は新型コロナウイルス禍の経済見通しや必要な政策に真剣に耳を傾けていた。



司会
日本経済新聞社
編集局次長兼経済部長
藤井 一明氏





東京一極集中の是正 危機管理 統括組織

中部経済連合会 会長 水野 明久氏

- 《現況》
- 中部圏4～6月期景況判断（DI）マイナス82.6ポイント 前四半期比76.8ポイント悪化
 - 経営厳しいサービス業
 - 先行き見えない航空機関連産業
 - 減産から増産に転じたトヨタ自動車
- 《今後》
- イノベーションの重要性
 - スタートアップ・エコシステム
 - グローバル拠点都市の名古屋市・浜松市
 - 産官学の連携
 - 非常時の危機管理を統括する組織
 - 東京一極集中是正



世界経済の分析はミクロの視点

日本銀行 名古屋支店長 加藤 毅氏

- 《現況》
- 景気ゆるやかに改善
 - 回復基調の生産と輸出
 - 需要増加の電力・ガス
 - リーマン・ショックの教訓を生かした経営者
- 《今後》
- デジタル通貨
 - 環境問題
 - 州によって違う米国の感染状況
 - 方向性を身語るな



世界経済の最大のテーマ「米中関係」

野村証券 チーフエコノミスト 美和 卓氏

- 《現況》
- 感染再拡大の新型コロナ
 - 人々の生活様式を変えた新型コロナ
 - 潜在成長率への影響
- 《今後》
- デジタルトランスフォーメーション
 - 働き方改革
 - 米中の共存と武力衝突



コロナ後の財政再建

日本経済研究センター 研究顧問 小峰 隆夫氏

- 《現況》
- 回復傾向の景気
 - 厳しい雇用情勢
 - 戻らないインバウンド
 - インバウンドの依存度が低い中部地区
 - 医療体制を揺るがす重症患者数
- 《今後》
- コロナ前に戻るまで2年以上
 - 膨大な財政出動と財政再建
 - 気掛かりな消費税引き下げ論
 - 現実的に困難な東京五輪
 - 開催費用をほかの財源に

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム^{*1}拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織が策定した拠点形成計画を認定するものです。

●コンソーシアム（計画主体）

名称 Central Japan Startup Ecosystem Consortium
 構成 Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium
 浜松市スタートアップ戦略推進協議会
 代表者 一般社団法人中部経済連合会 会長 水野 明久
 構成組織 一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋（事務局）、浜松市はじめ172企業・団体・大学

●エコシステム形成に向けた4つのコンセプト

- ① 卓越した次世代教育を受けた人材の輩出
- ② 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化
- ③ ディープテック^{*2}を活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決
- ④ ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

^{*1} スタートアップ・エコシステム 起業希望者に対して、企業や弁護士の専門家、地域資源などを有機的に結び付け、循環させながら、スタートアップ企業の創出を地域で戦略的にバックアップして行く仕組み

^{*2} ディープテック 大学や研究機関で研究開発された技術を基に、世の中の生活スタイルを大きく変えたり、社会の大きな課題を解決したりするテクノロジーのこと